



平成30年12月3日



12
月号

桜の聖母学院小学校

『続 にじいろのクリスマス・プレゼント』

☆カトリック校である本校では、毎年、世間よりひと足早くクリスマスの準備を始めます。ただし、準備といいますが「もの」ではありません。「心」です。主のご降誕を迎えるための「心」の準備が、先月26日（月）から既に始まっています。「待降節」朝礼です。この言葉を見聞きすると実感するのは、当然のことながら、クリスマスが近づいているということ。そして、その後には年の瀬を迎えるということです。何はともあれ、平成30年（2018年）も残り一か月です。☆ちょうど一年前、聖母小だより12月号の巻頭言で『にじいろのクリスマス プレゼント』という小冊子を取り上げました。その冊子名の通り、この時季にぴったりの内容だったからです。きくこと、ゆるすこと、ほほえむこと、いのること、かんしゃすること、ほめること、しんらいすること。「にじいろ」つまり「七色」のプレゼントのうち、昨年は“ほほえみ”を選びました。今年は“かんしゃ”です。

☆楽しいとき、嬉しいとき、よいことがあったときの“かんしゃ”。

これは誰もが、言われなくても自ずとするでしょう。一方、苦しいとき、辛いときの“かんしゃ”はとて難しいものです。本当に“かんしゃ”すべきことは、むしろ、日常生活のごくありふれた出来事、ささやかな出来事の中にあるのかもしれない。拙文を書きながら、そんなことを思いました。

☆最後になりましたが、この一年間の保護者の方々のご支援・ご協力に、それこそ“かんしゃ”しつつ、今年の巻頭言の締めくくりとします。

副校長：武藤 浩之

すべてを あたえてくださった
かみさまに
かんしゃ しよう

かぞくの みんなに
かんしゃ しよう

おともだちに
かんしゃ しよう

たのしいとき うれしいとき
かんしゃ しよう

くるしいとき つらいとき
かんしゃ しよう

これが
かんしゃの プレゼント

おめでとうございます～国語科：各種コンクール～

◎第9回「みんなの新聞感想文」コンクール	入選	4年1組
◎「家庭の日」作文コンクール	優秀賞	5年1組
◎第59回「動物愛護の作文コンテスト」	二等賞	5年1組
◎「住みよい地球」全国小学生作文コンクール2018	努力賞	3年1組
	//	5年1組
◎第51回「お母さんありがとう作文コンクール」	入選	1年1組

ご案内：「クリスマス祝賀式」

☆イエス キリストの誕生を祝うと共に、天の父がひとり子を送って下さるほどに私たちを愛して下さいたことに感謝して祝うのが、この行事です。

☆日時と会場は下記の通りです。子どもたちとクリスマスの喜びを共にして下さいますよう、ご案内いたします。

記

【日 時】平成30年12月15日(土)10:00～11:00 *開場9:50

【内 容】「聖劇と全児童によるクリスマスキャロル」

【会 場】短大マリアンホール (宗教科：定方)

ご協力を：「募金活動」

☆募金活動のめあては、『世界の困っている人たちや貧しい人たちのために、心のこもった募金をしよう』です。

☆募金活動の期間は下の通り2回です。ご協力のほどお願いいたします。

○第1回 平成30年12月 5日(水)、 6日(木)

○第2回 平成31年 1月17日(木)、18日(金)

(奉仕委員会担当：中津、猪本)

御礼：「図書」「資源」「ベルマーク」

図書整理

☆11月20日(水)～27日(火)までの5日間、図書整理を行ないました。合わせて12名の保護者の方が長時間にわたり作業をして下さいました。心より感謝申し上げます。(担当：定方)

ベルマーク作業

☆日頃よりベルマーク活動にご協力下さり、ありがとうございます。今回は16541.3点(11/17)集めることができました。確認ですが、ベルマークの提出日は毎月1日になっております。少しずつでも構いませんので、オレンジ色の袋に入れて、お子さんに持たせて下さい。(担当：定方)

資源回収

☆「資源回収」におきましても皆様の温かいご協力をいただいております。今回は総量 2,880kgの資源が集まり 円になりました。(担当：湯川)

ミニコラムNo.41 ～22人のかがやき～

2年1組担任：佐藤 櫻子

☆11月18日に行われた学習発表会。素直で真摯な姿で、役を指の先まで演じきる全校児童の素晴らしい発表の数々でした。2年生は日本語劇「どろぼう大しゅうごう」を発表しました。子どもたちは毎日練習を重ねるにつれて演じる喜びを実感し、保護者の方々に向けて素晴らしい発表をしようと、生き生きとした様子で頑張っていました。ところがです。校内発表会の1週間前の時点で、声の大きさやセリフの強弱はとても良いのに、最初の頃子どもたちから伝わって来ていた楽しさが、なぜか半減したように思えてきたのです。

☆そんな時です。担任が悩んでいることが子どもたちにも伝わったのでしょうか。今まで担任からの指導を待つだけだった子どもたちが、互いにアドバイスを始めたのです。そして、互いに試し、賞賛し合い、担任の心配などよそに、ぐんぐん素晴らしい表現力を身につけていったのです。

☆この時、子どもたちは「自分たちで創り上げたい」という気持ちを自ずと育むことで、力を合わせることで、責任を果たすことの大切さをつかみ取り、大きく成長してくれたのだと実感しました。そして、その伸びようとする力に感動しました。

☆台本を作製したのは担任であっても、この劇を創り上げたのは紛れもなく、22人の力です。その力を引き出したのも22人です。学級通信が「かがやき」であるように、学習発表会という大舞台上に立った22人の姿は、今まで以上に堂々と輝いて見えました。



2年生の日本語劇「どろぼう大しゅうごう」

カトリックの暦～待降節～

宗教科：定方 一悦

☆季節の変わり目を表す二十四節気のように、カトリックにも暦があります。「典礼暦」といいます。「典礼暦」の一年は、12月の待降節が1年の始まりです。救い主をお迎えし、その誕生を祝う待降節こそ、1年の始まりにふさわしいと思います。

☆本校では先月26日に「待降節朝礼」が行われました。今年は、NPO法人CSRスクエアの代表でベトナム・ラオスの山岳地帯の子どもたちへの支援・交流活動をされている安戸仙助先生の講演(右の写真)をうかがいました。

☆ラオスの村々の様子や、学校に通いたいという現地の子どもたちの切なる願いを聞き、待降節の実行に一層励もうと、気持ちを新たにしました。そして、また一つ、心の成長の糧を得たようです。



演題「東南アジアの子どもたちの糧の輝きに学ぶ」